



チャレンジすること

後期が始まりました。6年生は96日、1～5年生は99日を予定しています。

始業式ではノーベル化学賞受賞の京都大学の北川氏とサッカー日本代表森保監督の話をしました。

北川氏は、「自分の感性を信じること、チャレンジすること、興味（の三つ）が融合して、私自身の方向性を支えた。育っていく過程で、いろいろな経験をするけど、それを大切にすることで将来の花が開くと子供たちに伝えたい」と話されていました。また、昨日のサッカーのブラジル戦で勝利したことについて森保監督は「皆が努力したことが結果につなが



った」と答えていました。お二人の話から、自分を信じてチャレンジしていくことの大切さについて、子供たちに伝わってほしいと思っています。

先日配信した図書だよりにも紹介しましたが、図書委員会主催の「ビブリオバトル」が学年毎に開かれました。観客は図書室には入りきらず、他の教室に中継されるほど大盛況でした。参加者たちのその本にかける熱意がとても伝わってきたビブリオバトルに、たくさんの子供たちが大きな拍手を送っていました。

夏休みの自由研究では科学論文や科学工作、絵画や習字などに挑戦した子供たちもいます。習い事のスポーツなどに一生懸命取り組んでいる子供たちの話も聞いています。

子供たちの多岐に渡る興味・意欲を大切にし、日々の生活の中で様々なことに挑戦（チャレンジ）し続けることができるよう、私たち大人は応援していければと思います。

後期もよろしくお願いいたします。

校長